

# 長野県SDGs推進企業登録制度の登録状況等について

産業労働部 産業政策課

## 1 登録者数（令和元年5月20日～令和3年4月30日まで）

796者

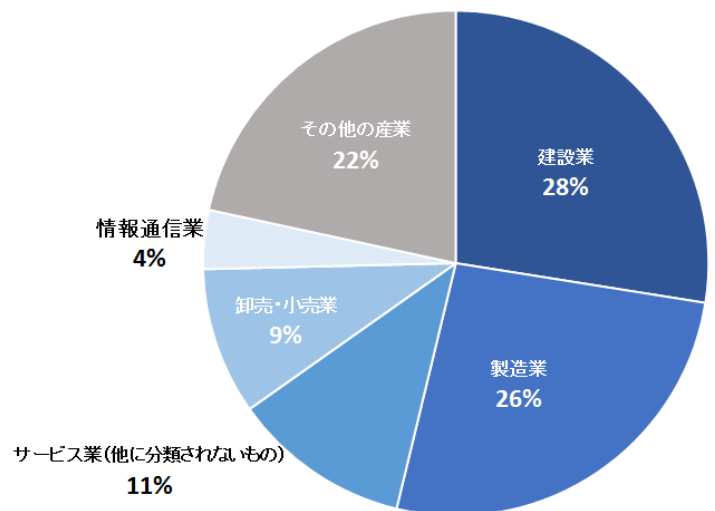
### 【内訳】

- 第1期・・・80者（令和元年5月20日から6月末まで）
- 第2期・・・82者（令和元年7月1日から9月末まで）
- 第3期・・・70者（令和元年10月1日から1月10日まで）
- 第4期・・・145者（令和2年1月11日から3月末まで）
- 第5期・・・101者（令和2年4月1日から6月末まで）
- 第6期・・・69者（令和2年7月1日から9月末まで）
- 第7期・・・106者（令和2年10月1日から1月12日まで）
- 第8期・・・143者（令和3年1月13日から3月31日まで）

## 2 産業区分 ※登録上の産業区分とは、主たる業務内容について、申請者が日本標準産業分類の大分類により区分したもの

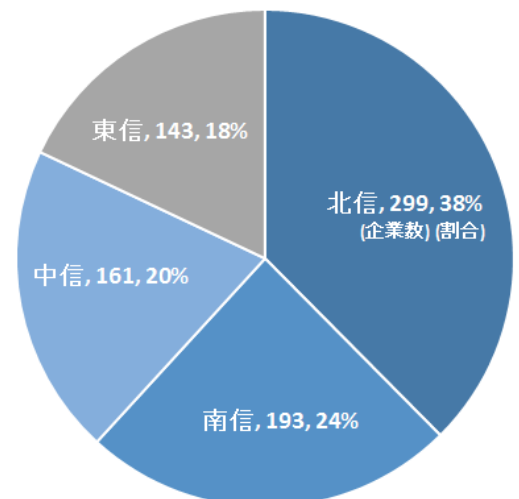
業種	登録者数	構成比
建設業	219	27.5%
製造業	209	26.3%
サービス業(他に分類されないもの)	91	11.4%
卸売・小売業	75	9.4%
情報通信業	30	3.8%
金融・保険業	27	3.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	24	3.0%
宿泊業、飲食サービス業	22	2.8%
学術研究、専門・技術サービス業	17	2.1%
複合サービス事業	16	2.0%
医療・福祉	13	1.6%
農業	12	1.5%
林業	10	1.3%
運輸業、郵便業	8	1.0%
教育、学習支援業	8	1.0%
生活産業サービス業、娯楽業	8	1.0%
不動産業、物品賃貸業	3	0.4%
分類不能の産業	2	0.3%
漁業	1	0.1%
鉱業・採石業・砂利採取業	1	0.1%
計	796	100.0%

申請企業等の産業区分  
(796者)



全申請者の事業所等の所在地域(796者)

## 3 地域別の申請状況

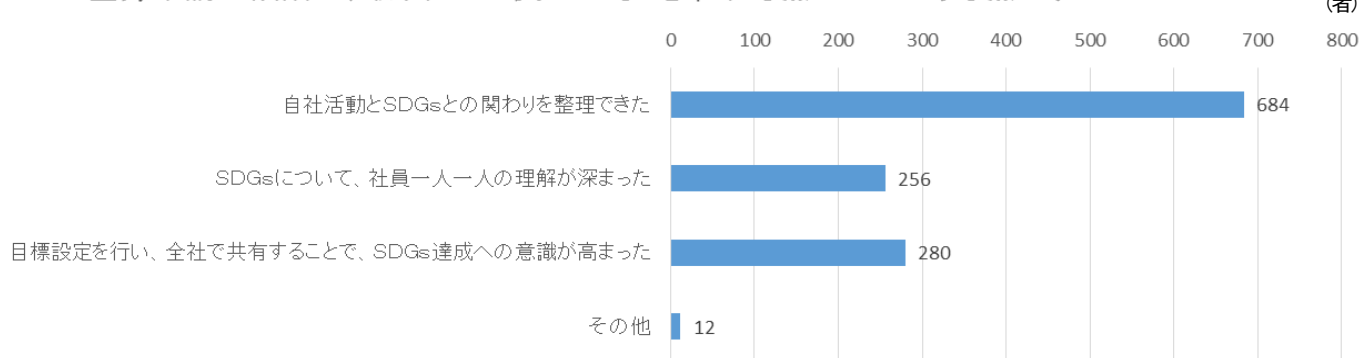


## 4 アンケートの結果（いずれも複数回答）

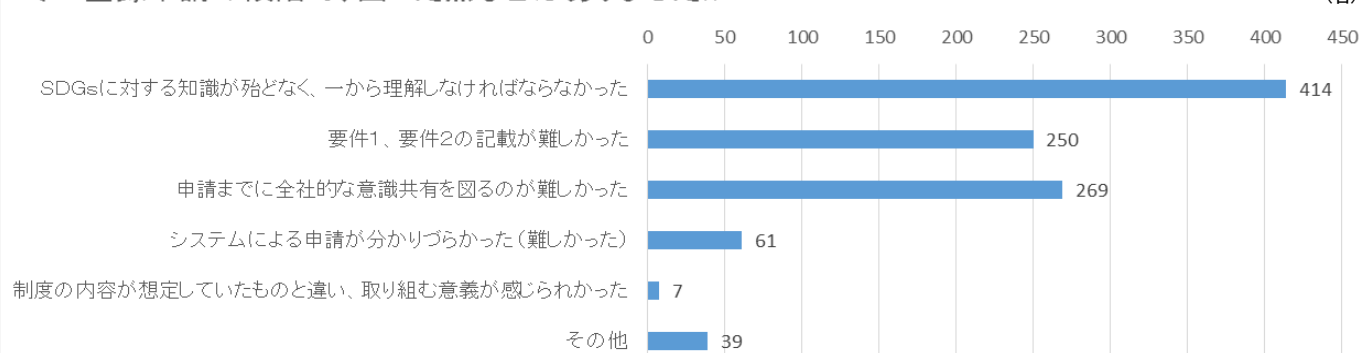
回答対象者 796 者

有効回答数 760 者 回答率： 95.5%

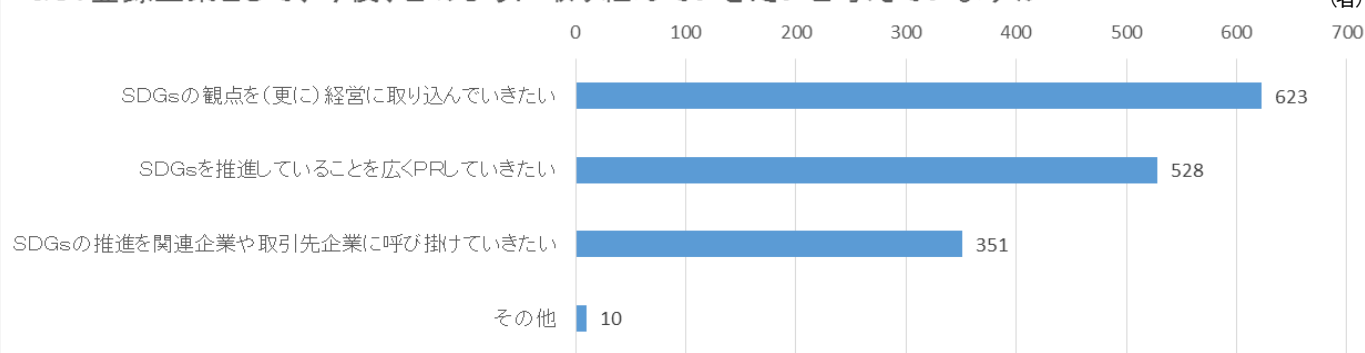
### Q1:登録申請の段階で、取り組んで良かったと思われる点はどのような点ですか



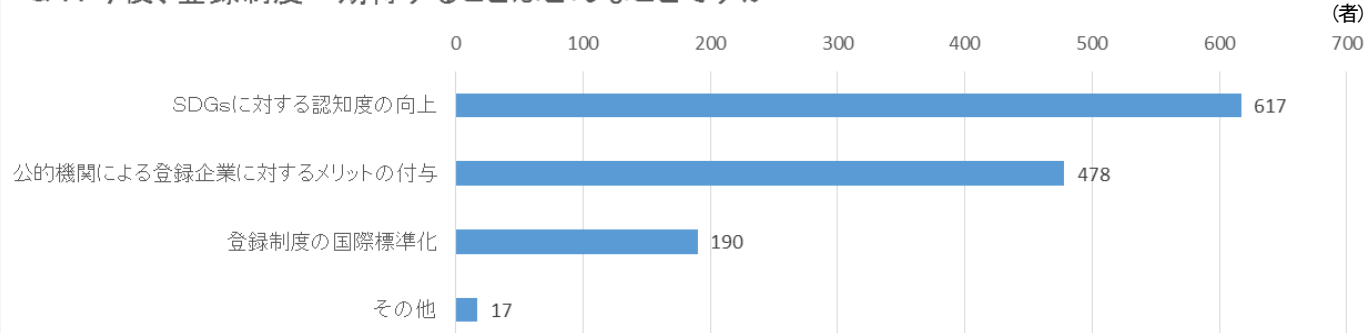
### Q2:登録申請の段階で、困った点などありましたか



### Q3:登録企業として、今後、どのように取り組んでいきたいと考えていますか



### Q4:今後、登録制度へ期待することはどんなことですか



## 5 登録制度や県のSDGs施策について（自由記述欄）から抜粋

### 【令和3年度登録】

- ・県内入札制度に応募できる一つの基準とする（登録してある企業が参入できる様にする）
- ・SDGs 先行県の長野県として基準設定し、全国へ向け発信してはどうでしょうか
- ・SDGs について理解を深めることができ、社内での取り組みの意義目標が共有できた。社内全員で環境の保護改善、全ての人が健康で幸せに過ごせることができるよう行動する決意です。
- ・モニタリングを複雑にしないほしい。
- ・企業としての取組を見直すことができました。また、社内でもSDGs に取り組む意味を理解しながら、環境、世界平和についても考えることができました。一人ひとりの意識向上によりSDGs を達成する取組を考えていきます。
- ・他県の業者に先んじて登録できたことが今後の強みとなると思います。いずれはどの企業も取り組まなければいけないことをいち早く勉強できてよかった。
- ・SDGs に関してのセミナーや勉強会の機会をもっと増やしていただけるとありがたいです。”
- ・この登録を機にSDGs への理解につなげて輪を広げていくことが大切であり、登録企業の中でアクティブに活動している企業を参考にしたいので紹介してほしい。また、そういった企業とコラボしたイベントや取組を行えるような仕組みづくりを行ってほしい。
- ・持続可能な社会を作り、地球環境の改善、働く人達が生き生きとした社会の構築を通して、未来の人類へ少しでも貢献できるよう努力し、社員と一緒に諦めずにSDGs を勉強・実行し続けます。

### 【令和2年度登録】

- ・登録する過程で、具体的にどんなことに取り組んでいったらよいのかなどSDGs が身近に感じられるようにされていてよかったと思います。
- ・県としての取り組みが他県より先進的であり、今回の登録申請のきっかけとなりました。
- ・弊社のビジョンと施策はSDGs に完全一致、具体的には社会の問題を社会の力で解決する未来を創ることを目指し、企業として社会活動団体の支援に取り組むことを主事業としています。
- ・イメージUPにとっても活用できると思っております。県のマークかっこいいです。
- ・建設業に於いての官民一体型女性登用の推進をお願いします。
- ・長野県に本社を置く企業として、長野県とともにSDGs の推進に努めてまいります。
- ・是非、登録企業と非登録企業の差別化をさらに色濃くしていただきたいと思います。
- ・未来につなぐ役を持つ今の子供たちも分かる具体的な県民運動の展開をお願いします。
- ・県のSDGs 担当者や登録企業との意見交換や交流の場が多くあると良いと感じています。
- ・SDGs の推進は自社だけで取り組んでも意味がなく、県や国、市町村とも連携しやすい様に各方面へ働きかけを積極的に行っていただきたいと思います。
- ・登録によって得られたネットワークを幅広く生かしたい。
- ・弊社の主力の木材に長野県産材を使った新商品を積極的に開発していきたい。
- ・登録企業間のネットワークや協働の促進に対するアクションを起こしやすい仕組みを期待します。
- ・これからもPRをお願いします。
- ・今回申請内容に基づき自社の企業としてのレベルアップに取り組む所存であります。
- ・登録企業同士の意見交換会やイベント等を行っていけば企業だけでなく一般の方々にもSDGs の輪が広がっていくと思います。

- ・国際社会の課題や環境問題といった大きな命題に対して、一企業として具体的に何ができるかを見直し、今後意識して行動するきっかけにしたいと思います。
- ・登録書式を記入する事で社内の問題点を客観的に分かり、目標設定する事により周辺整備の必要性が理解できました。取引先や知人の会社にSDG sを考える機会を勧めてみたいと思います。
- ・SDG s企業の関連した商品などを周知して頂けるシステムがあれば有難いと思います。
- ・登録企業がさらに増えて長野県の登録制度の認知度が高まる為に、公的機関によるメリットの付与は必須と考えます。
- ・どの取組でも良いから自分の取り組めることから実践して見る。できる範囲で無理しないで取り組むことが自然にできるコツかもしれません。
- ・企業活動の規模や形態も、それに応じて変化しなくてはならず、これらのことの社会的浸透のために、県には一層のPRをお願い申し上げます。
- ・登録者同士での情報交換や交流の場を設けていただきたく思っております。
- ・昨年の台風災害と今回の新型コロナウイルス感染蔓延の中で自社のBCP対策を見つめなおす観点で意義深いものだった。
- ・長野県ならではのSDG sの強みを明確にし、戦略的な広報活動と具体的な企業活動や推進テーマの連携による相乗効果が出る仕組みを早急に構築して欲しいです。
- ・SDG sに向けた具体的な一歩を踏み出すことが出来ました。今後はさらに深く事業計画とSDG sを一体化させ、全社的な認識と行動へと拡大させていきたいと思います。
- ・定期的に活動報告を行い、成功事例を水平展開するようなことが必要と考えます。
- ・長野県は先進的にSDG sに取り組んでおり、当社もその長野県にある企業の一つとして2030年に向けて経済活動していきます。経世済民+SDG sがこれからのスタンダードと考えます。
- ・弊社は環境に係る業務を行っており、SDG sを柱に経営理念も変えていこうと考えております。
- ・今後は社員一人一人への更なる理解と意識共有を図り、パートナー会社及びお客様へSDG s推進のPRを広くしていきたいと思います。
- ・政策はととてもよく同意できますが、SDG Sの登録制度について、誰でも登録可能ではなく、一定基準を設けた方が良くと思います。
- ・まだまだ認知度が少なく登録制度の情報が少ないように思います。
- ・中小企業にとって一見難しそうなSDG sへの取り組みを、簡潔なフレームワークにさせていただけた点は、非常に助かりました。

## 【令和元年度登録】

- ・国や他県からも、県のこの取り組みが認知されるようになってほしい。
- ・企業のCSRの方向性（カテゴリ）が明確になる。ただ、全項目が必須事項というのはハードルが高い企業や業種もあると思う。
- ・県でSDG sを推進することを誇りに思う。
- ・行政との協働などを積極的に行うことなど、全国的にも模範となる活動をしたいと思います。
- ・県内企業として真摯に、前向きに取り組んでいきたい。
- ・だれ一人取り残さないというSDG sの理念の広報を強く、継続的にやっていただきたいです。
- ・SDG sは我社とは関係が無いように感じておりましたが、企業活動がSDG sと関わりが深かったことを理解したり、整理できたことは大変良い機会となりました。
- ・どの業種もまだまだSDG sの認知度が低く感じます。士業をされている先生方にもご協力いた

だきもっと盛り上げていければよいのではないのでしょうか。

- ・弊社の現状と課題・開発目標が客観視でき、運営面での気付きも多く、極めて有意義であった。一方、SDGsの理解により、企業の取組や事業展開に大きな差が出ている現状があり、引き続き認知度の向上にご努力頂きたい。更に、登録の具体的取組内容などを吟味して、優良・独創的な企業を選択して、開発プロジェクトの編成、県事業とのコラボなど、県内企業の技術・能力・エネルギーを生かしてほしい。
- ・特に公的機関からの中小企業への応援体制が弱いような気がします。
- ・「長野県でも環境問題に対してこんな取組をしている会社がある」というPRをしてほしいです。
- ・登録時のゴール設定の条件などが難易度が高いものもあり、社内浸透の際に無理が出てきてしまいます。結果的に進めていけるのかどうか疑心暗鬼の中での申請でした。
- ・県と市町村ではかなり温度差があると感じますので、県、市町村、大企業、中小企業、個人でパートナーシップを組んで目標達成のための推進が必要です。
- ・企業価値を上げることにもつながっていると感じています。
- ・SDGsを標榜するだけでなく、日常的に取り組んでもらうために、ローカルメリットクラブ(長野県に密着した福利厚生サービス)で地元店を意識的に利用して欲しい。
- ・自社の企業活動、取組をSDGsに結び付け整理することができ、に大いに役立ちました。
- ・SDGsの考え方を取り入れた経営をしていないと取引ができないようになってきた。
- ・なんのために生きているのか、なんのために経営しているのか、なんのために事業をしているのか、SDGsの取組みから学ぶことはたくさんあると感じています
- ・長野県が全国に先駆けてSDGsの推進に取り組むことに大変意義を感じております。積極的かつ継続的な運営をお願いしたく存じます。
- ・県内企業や行政機関、教育機関、地域医療と連携し、地域の社会的活動へと発展させていきたい。SDGs施策を認知されるように働きかけを行い、更に意味と価値のあるものにしていきたい。
- ・今後の当社を取り巻く環境を理解し、整理できたことは良かったです。社員に浸透させて内外にこの活動を広げていきたいと思えます。
- ・SDGsの観点から自社が出来ている事、いない事、これから取り組むべき事が整理できました。
- ・仕事を通じ、また仕事以外でもSDGsに関わっていこうと改めて強く感じました。
- ・企業としてSDGsに対してどのように取り組んでいくのか、具体的に検討するきっかけとなりました。
- ・産学官民が参画する1本化された組織作りが理想ではないかと考えます。
- ・経営戦略、経営計画の作成時に役立ち、また、経営戦略や経営方針を社員に認識させる道具として使える。中小規模規事業所での使い方をアピールして貰えると認知度向上に貢献できると思う。
- ・県内企業、各種団体へのPRをお願いします。また、県内学校への出前講座も必要かと存じます。
- ・長野県がSDGs未来都市のモデルになるように、地元企業のパートナーシップの強化に取り組んでいきたいと思えます。
- ・もっと認知度を高めていくべきだと思います。まだまだ知らない人が多い感じを受けます。
- ・当社もCSRにつなげていき、本業を活かして課題解決に進んでいく覚悟です。
- ・本登録制度は取組みのきっかけとなり、非常に良い機会になると思えます。
- ・まだまだ認知度が低いので、自社からも幅広い年代の人へ向けてアピールをしていきたい。
- ・昨年度に比べ今回はわかりやすく改善されていたので今回登録することができました
- ・もっと企業が興味を持ってくださるよう、アピールすれば良いのではないかと思います。

- ・どのように取り組んで行けば良いか迷っていたところにこの制度があり、非常に助かりました。
- ・制度に登録することで社内への協力依頼もしやすくなりました。
- ・社内でのSDGsの理解は初歩段階です。今後社内教育を通じて有効的な活動に繋げていきます。中小企業の役割・取組をアピールできる素晴らしい施策だと期待しています。
- ・SDGsを県内の企業全体で取り組んでいく事に、非常に意義があると感じております。引き続き認知度の向上や登録企業の増加を推進して頂けましたら大変幸いです。
- ・長野県として2030年になったら、1人1人が生き生きし、希望溢れる社会となるようにして欲しい。そうなれば、SDGsの様々な目標も一歩前進し、満足の成果が必ず生まれてきます。
- ・公的機関、民間団体等の協力体制を構築し、啓蒙・普及活動を強化すること。
- ・先進有効事例について広く伝えていくこと。
- ・登録に際し、何回ものお問い合わせに丁寧にお答えいただきありがとうございました。個人事業主ながら登録することが出来ました。
- ・登録制度のお話をすると『知らなかった』とおっしゃる方ばかりです。そしてとても興味を持たれて、調べてみようとおっしゃいます。周知することでもっと進むのではないかと感じています。
- ・先進的自治体であることから、SDGsに取り組む企業増加のため全県的な施策展開、また中小企業事業者に対しては経済的なメリットの付与が効果的であると思います。
- ・登録がゴールではないので、登録制度を受けた企業等によるコラボレーションや交流会の開催を県が主導して実施してほしい。
- ・地球温暖化や環境問題等真剣に取り組む地域作りを長野SDGsを通じて目指します。
- ・自社事業への振り返りが出来たこと、今後の目指す会社像を描くには非常に良かった。
- ・「気候非常事態宣言」「長野県SDGs推進企業登録制度」などを市町村レベルにどのように啓発していくか。又商工会議所、商工会などへの働きかけが重要です。
- ・企業として国、県が推進する施策と一緒に取り組む姿勢が大切だと思います。
- ・SNSやホームページなど通じて県内のSDGsに対する認知を上げていただきたいと思います。
- ・一人一人ができることは僅かかもしれませんが一人でも多くの方の意識が変わればきっと未来は変えられると信じています。今回この取り組みに関わることができて感謝しています。
- ・他県に先駆けて取り組んでいる慧眼に感服致します。
- ・今度、SDGsの推進企業の商品を集めて特集サイトを作ります。
- ・長野は災害があつたり、高齢化、自殺率の高さなど意識を変えていく必要があると思います。
- ・SDGsの認知度は二極化されているように思われます。
- ・登録企業へのメリットや新規ビジネスの展開などを検討いただければと思います。SDGsは新市場としての魅力を感じています。
- ・登録企業間の情報交換会、勉強会を開催して頂きたい。
- ・私どもの地区ではESD教育（環境プログラム）を子供たちに伝えてきました。長野県にお越しになる観光客・子供たちへのプログラム（協力体制）構築を検討していただきたいと願います。
- ・SDGsへ参加する事で企業の社内に対しての責任が明確になり、社員の企業活動のモチベーションを上げる効果が期待出来そうです。
- ・「人新世」時代の企業活動において、生産性、効率等の指標だけではなく、自然との共存、「ガイアとしての地球」の視点が必要である。
- ・より深い理解や多くの企業や社会に広まるような取組をしてほしい。
- ・まだまだSDGsそのものが県内企業に周知されていないと感じます。当社でも多くの企業にお

勧めするなどできるだけ協力したいと考えております。

- 登録制度を通し、取組に対するプロセスや活動方針が具体的かつ現実的なものとなったことが大きなメリットであったと考えます。
- 要件2の記入に時間がかかりましたが、その分、具体的に何を取り組めば目標達成に寄与できるかを整理する事ができて良かったです。
- 企業登録制度はSDG sを企業に取り入れるツールとして取り組みやすいと思います。企業がSDG sを行っている公表する上で整備しておかなければならない項目が分かるからです。
- SDG sと聞くと、環境の事だけ取り組んでいれば良いと考える人もいるため、環境・社会・経済の三要素が必要になる事を研修会で伝えた方が良いかと思えます。